

なにわ自動車検査登録事務所庁舎

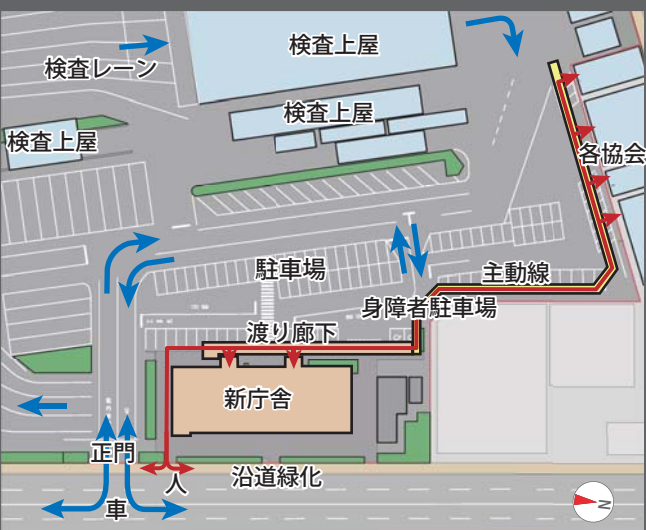
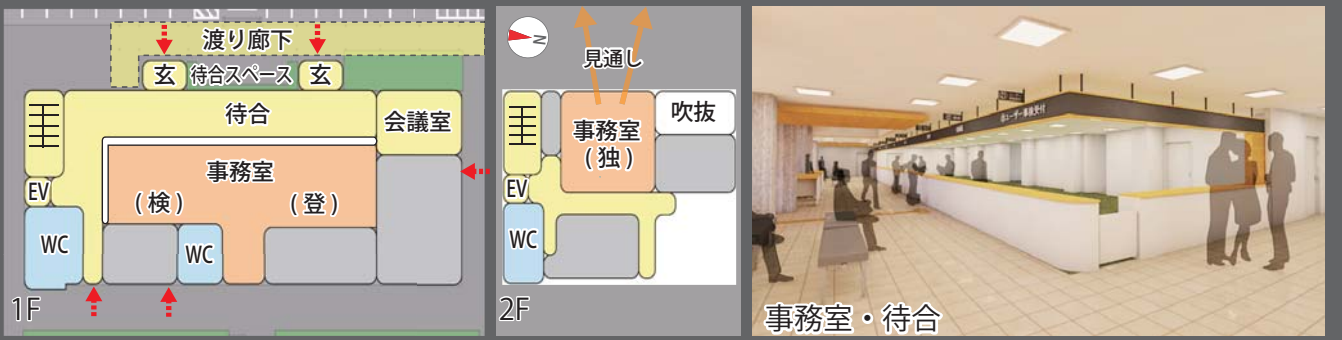
Naniwa Office for Motor Vehicle Inspection and Registration

検査・登録・独法 3つの機能連携



■施設の利用状況に応じた平面計画

- 検査・登録事務室を一体で配置し、連続したカウンター配置で円滑な業務運営が可能となるようにしています。また、無柱空間とすることで見通しや採光、外への視線の抜けなど利用者・職員双方に使いやすい施設としています。
- 待合は検査・登録それぞれに待合スペースを設け混雑が集中しないようにしています。また、繁忙期は隣接する会議室の間仕切りを開放し、待合スペースとして活用できる計画としています。待合に隣接した、屋外にも待合スペースを設け混雑の緩和を図っています。
- 独法事務室は、2階に設け場内を一望できるように西側へ配置しています。



■施設の利用状況に適した配置計画

- 本施設は検査登録事務に遅滞のない円滑な動線が求められ、不慣れた利用者にも分かりやすい配慮が必要です。そのため、庁舎は駐車場から渡り廊下を介し、複数の各玄関に速やかにアクセスする計画としています。
- 隣接する各協会と本庁舎間の連絡通行量は非常に多く、安全・快適に利用者が移動できる渡り廊下を計画しました。
- 正門からのアプローチは、歩車分離を図り、見通し良くすることで安全な移動空間を整備しています。



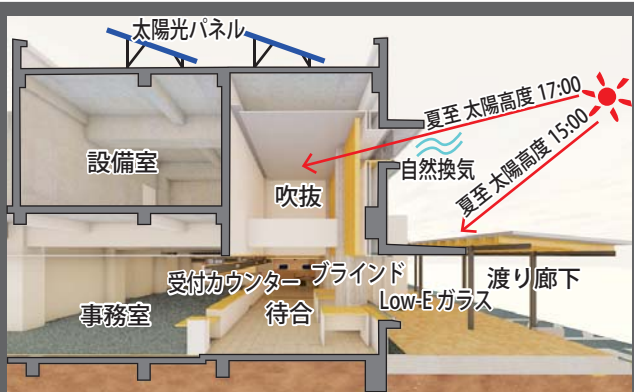
■木材を活用した暖かみのある内装計画

- 計画地周辺はかつて木材の産業が盛んで、敷地東側の湾に木材が浮かぶ貯木場がありました。なにわ運輸自動車事務所が開設された昭和50年代は貯木場に多くの木材が保管されていました。事務所開設当時の木材が並ぶ風景をイメージした、木製のルーバーをデザインモチーフとし、玄関や待合に取り入れて暖かみのある内装計画としています。



■環境負荷低減に配慮した施設計画

- 渡り廊下の屋根、木製ルーバー、及び庇を活用して西日対策と日射負荷対策に配慮しています。
- 吹抜上部に開口を設けて温度差による中間期の自然換気を促進した計画としています。
- 待合や事務室の外部に面した箇所に採用した遮熱、断熱性に優れたLow-Eガラスや高遮蔽ブラインド、屋上に設置する太陽光発電等を採用し、熱負荷低減と自然エネルギーの利用に配慮した施設としています。



■施設概要

施設名称	: なにわ自動車検査登録事務所庁舎
所在地	: 大阪府大阪市住之江区南港東3-1-14
地域地区	: 準工業地域
建物用途	: 庁舎
構造規模	: 鉄筋コンクリート造 地上2階建て
敷地面積	: 22,470.03㎡
建築面積	: 877.67㎡ (庁舎)
延べ面積	: 1,143.82㎡ (庁舎)
発注者	: 国土交通省 近畿地方整備局
設計者	: 株式会社 都市環境設計